



# そうわ通信3月号

《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成  
～学び合い 高め合う なかまづくり～

## 相和小で培ったことを胸に…

～6年生を送る会～【2月22日（水）】

6年生にとっては一つの区切り、5年生にとっては次のリーダーになるための試金石、そして1～4年生にとっては本当にお世話になった6年生に感謝の気持ちを精一杯届けるのが「6年生を送る会」です。今年は、2月22日に行われました。

6年生に対して、各学年から歌や演奏のプレゼントがあり、どれも工夫が盛り込まれた内容でとても素敵なものでした。5年生は映像に収め、見ていて懐かしさや楽しさがあふれるものでした。

この6年生は、小学校義務教育の後半3年間においては、新型コロナウイルスとの関わりの中で何かと制限がかかり、思うようにいかないことも多々あったかと思います。そのような中であっても、9名が一致団結して困難を前向きな気持ちで乗り越えてきました。ユーモアがあっつまっすぐで、よく笑う子たちでした。

次は、いよいよ卒業証書授与式です。今は、当日に向けて式学習の真ただ中。今の全校42名を見ていると、当日は敵かの中にも温かみのある卒業式になることは間違いありません。

なお、今回は6年生と各学年とで撮った写真がとてもよかったので、大きめにして掲載します。5年生は、他のエピソードで掲載しているのでここでは写真はありません。あしからず…

六年生と一年生



2年生は、何事にも一生懸命です



六年生と二年生

六年生と三年生



4年生は、アイデアがあふれます



六年生と四年生

## 子育てアラカルト⑱ ～これぞ伝統！～

この写真は、3月上旬のある日の放課後に撮影した1年生の靴箱の様子です。すでにお気づきかと思いますが、きれいに並べられています。手前のへりに、上履きのかかをと揃えて置くことが習慣となっていることがよくわかります。確かに1年生は、グラウンドに出る時もグラウンドから戻ってくる時も靴箱の前で一息ついて、両手で丁寧に上履きを置いている姿をよく見かけます。

これは、1年生だけではなく、2年生以上の子供たちももちろんできています。他にも、傘を使った後は、昇降口に入る前にしっかりと雨水をきったり廊下や階段は右側通行したりなど、当たり前のようにすがなかなかできないことをしっかり行えるのが相和っ子の素晴らしいところです。

これも、温かい雰囲気にも包まれている相和地区及び大井地区の保護者や地域の方々の存在があってこそ。何気ない仕草ですが、これらは本校の立派な伝統です。



## 校内どんどこ焼き 5・6年【2月28日（火）】

6年の担任の先生から、「校地内でどんどこ焼きをやりたいのですが…」という相談を受け、それに至った経緯を聞いたところから始まりました。6年生は、総合的な学習の時間で、相和地区のよさを学び続け田中で、徐々に縮小化されてきたどんどこ焼きについて、その意義がよくわかっていないことに気付き、自分たちの手で実施したいとなったとのこと。団子は、5年生が作った米を挽いて作り、地域の方々の支援を受けながら、人数は少数ながら盛大に行われました。私もお団子をいただきましたが、とてもおいしく、一年間、健康でいられそうです。実行力のある相和っ子の姿が、一段とたくましく見えました。



## お別れスポーツ大会 6年【3月10日（金）】

毎年、この時期恒例の「お別れスポーツ大会」は、好天に恵まれ、6年生と教職員で交流することができました。内容としては、「エキスイ」「サバイバルゲーム」「ドッジボール」の3つを行い、どれも非常にエキサイティングで楽しいものでした。

作戦という面では、教職員に一日の長があったように思いますが、とにかく体力が無尽蔵な6年生にかなわない部分も多々あり、その成長がうれしくもありました。ちなみに、教職員は、次の日に若干の疲労が抜けきれなかったのは言うまでもありません…。



## 育成会の方への感謝の会 5年【3月3日（金）】



田んぼ育成会の方々にお越しいただき、5年生の米作りにご協力いただいたことへの感謝の気持ちを伝えるため、実施しました。5年生8名は、育成会のみなさんに喜んでもらおうと、「お米クイズ」や昔遊びなどを企画し、様々な工夫を盛り込んで準備してきました。その甲斐もあり、当日は、たくさんの笑顔があふれ、とてもすてきな時間となりました。一緒に時間を共有することで、育成会の方々の存在がより近く感じられたのは、とてもありがたかったです。

5年生のこの時期は、6年生との引継ぎもあり、より計画的に教育活動を進める必要があります。5年生は、それを「3プロジェクト」と名付け、「新入生交流会」「6年生を送る会」「感謝の会」の取組に懸命になりました。そして、それらを見事にやり遂げました。

卒業証書授与式においても、きっとその経験が生きてくることでしょう。令和5年度の相和小学校の教育活動も、この8名ならば、充実すること間違いなしではないかと、今から期待しています。



## 相和小マスコットキャラクター案、決まる

児童企画委員会が中心となって、今年に入って検討していた相和小のマスコットキャラクターが、約3か月の期間を経て、ついに決まりました。それが右の写真になります。もともとは、6年生が総合的な学習の時間に「道祖神」のことを学んだ時のものが原案として応募されたものです。



それぞれの形や色にはもちろん意味があり、なかなかよく考えられているなど思いました。もう一つ候補があったのですが、全校児童と教職員による投票の結果、こちらになった次第です。なお、キャラクター名については、次年度に検討する予定です。

## 教職員からのサプライズプレゼント！！

今年の学習発表会と授業参観の日に、1～3年生と4～6年生に分かれ、合奏の披露をしたのは記憶に新しいところです。教職員一同、そして保護者からも「素晴らしかった」という感想が多数寄せられました。改めて、「音楽から学ぶこと・音楽から得られるもの」を再確認することができました。

そこで、我々教職員は、「音楽は子供たちだけの専売特許ではない！」と声を上げ、これまでいろいろなことに頑張ってきた子供たちに、演奏のプレゼントをしようということになりました。届けた音楽は「空も飛べるはず」という曲なので、おそらく多くの方々にご存じかと思えます。

職員も得手不得手がありますので、適材適所でパートを決め、3月1日の昼休みに体育館で披露しました。子供たちがご家庭でどのような感想をお話したのかは定かではありませんが、職員は、大満足でした。次年度行うかは、現在のところ未定です…。

